

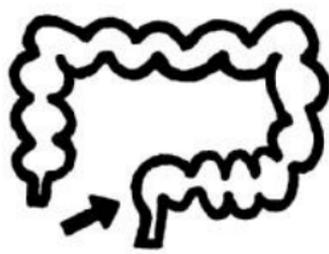
中咽頭がんを放射線治療で克服した音楽家の坂本龍一さんが、先月、直腸がんの手術を受けたことを公表しました。禁煙したといいますが、過去の喫煙が影響した可能性があります。国内での大規模な調査研究でも、男性の場合、禁煙年数が21年にならないと、発がんリスクは非喫煙者レベルまで下がらないことが分かっています。

直腸と結腸（盲腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸）からなる大腸のがんは、日本人に最も多いがんです。1年間に大腸がんで亡くなる人の数は、日本が米国を上回っており、早期発見の遅れが問題です。

日本人の大腸がんの約7割

がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

肛門を含めてがんを切り取る必要が出てきます。この際には、人工肛門を付けることになりません。また、性功能や排尿に関係する神経が切れてしまつこともあり、後遺症も少なくありません。

直腸は直腸S状部、上部直腸、下部直腸に分かれます。がん研有明病院で05〜11年に直腸がんの手術を受けた約1

温存する治療法も開発されています。

自動吻合など、手術技術の進歩によって、肛門のすぐ近くにできたがんでも、早期であれば肛門括約筋の一部を残すことで排便機能を保つことが可能となってきました。

東大病院では、肛門に近い進行直腸がんに対して、手術に先だつて「術前照射」を行っています。手術が困難なほど進行した直腸がんが切除可能となることがある他、がん病巣が縮小することで、肛門側ののりしろが増え、人工肛門が回避できるチャンスが広がります。

がん治療は日々、進化し続けています。

(東京大学病院准教授)

進化続く直腸がん治療

がS状結腸と直腸に発生していますが、直腸がんを治療する上で重要なのは、肛門との距離です。

結腸がんの手術では、がんから上下10センチほどのところで

腸を切り離し、つなぎ合わせます。しかし、直腸がんが肛門の近くにできた場合、上側を切り離せても、すぐ下が肛門ですから、下側の「のりしろ」が足りません。このため、

000人の患者の永久的な人工肛門の造設頻度は順に0%、5%、23%でした。自分の意思で排便できなくなると、生活の質にも大きな影響を与えますから、肛門を